

2018 **10**
No.47

JR札幌病院広報誌

H O T N E T

ほっとネット

Contents

p1 最新鋭MRI装置を導入しました

中央放射線室 菊田 俊

p3 平成30年8月5日(日)、第1回「JR札幌病院感謝祭2018」を開催しました。

事務部 総務G 正木 良紀

p5 摂食嚥下障害対策チームの紹介

チームリーダー 副院長 梁川 幸裕

p6 **地域発**

田代内科・呼吸器科クリニック

院長 田代 典夫先生

新そらちゃん&はなちゃんシリーズ
“牡蠣(かき)!そろそろだよ”

活き粹川柳 大募集

JR札幌病院 間違い探しゲーム
ほっとネット46号当選者発表



病院感謝祭2018



接遇研修会



エレベーター使用時の標識



セラピードックナース

JR札幌病院 基本理念

心の通う医療
信頼される医療
地域社会に貢献する医療

基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



H29.10.6 日本医療機能評価機構より
3rdG : Ver.1.1の認定を受けました。

JR JR札幌病院
JR北海道 JR SAPPORO HOSPITAL

JR札幌病院
ホームページ
QRコード

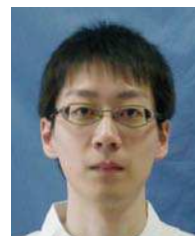


最新鋭MRI装置を導入しました

2018年4月から稼働しましたPhilips社製MRI診断装置「Ingenia 3.0T」の紹介をさせていただきます。

旧装置から大きく変わった点が二つあります。一つ目に検査環境の変化があります。検査のために患者様が入る装置の筒状の穴の直径が、以前の装置が60cmに対して、70cmと大きくなりました(画像1, 2)。この三ヶ月で多くの閉所恐怖症の患者様が検査を受けにいらしていますが、ほとんどの患者様に「前より圧迫感がなくなった」、「安心して検査を受けられた」とおっしゃっていただけています。また、体格が大きいために旧装置で検査ができなかった患者様が来院されたことがあります。問題もなく撮像ができたというケースもございます。わずか10cmという小さな変化にはなりますが、数値以上の大きな恩恵をもたらしてくれています。

もう一つの大きな変更点として、磁場強度が1.5Tから3.0Tの2倍に高くなったことが挙げられます。磁場強度が2倍になることで、患者様から発せられる信号も2倍となり、鮮明な画像を得るか、もしくは撮像時間短縮が可能となります。基本は鮮明な画像を撮像していますが、MRIはとても動きに弱い検査になるので、痛みなどでどうしても体が動いてしまう場合や口腔など生理的に動いてしまいやすい部位の検査では画質の劣化が生じてしまいます。その際には撮像時間を短縮させて検査を行っています。検査内容や患者様の容態に合わせて、最善策を選ぶようにしています。ほかにも3.0T MRI利点として、T1緩和時間という値が延長することにより、MRA(造影剤を使用しない血管撮像法)での血管描出能が上がる(画像3)、造影剤を使用した検査で造影効果が上がるといったものも挙げられます。

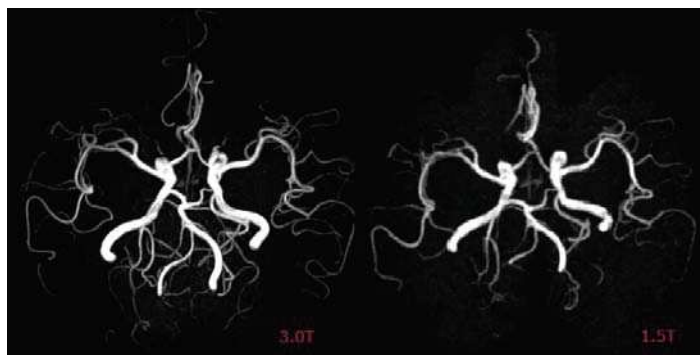


中央放射線室

菊田 俊

しかし、3.0T特有の欠点も多く存在しており、一つ目に騒音が増すことが挙げられます。基本は防音ヘッドホンを用いて音の軽減を図っていますが、耐えられない方の場合は耳栓も追加することで対応しています。旧装置で検査を受けたことのあるほとんどの方は、ひどくうるさくなったとおっしゃっています。今のところは騒音に耐えられなかった方はいらっしゃいませんが、疲れてしまった方は多い印象です。欠点の二つ目に、画像のコントラストの変化があります。なるべく旧装置と画像の色合いが同じになるように調整をしていますが、部位や撮像法によってはどうしても同じにならないこともあり、日々頭を悩ませています。

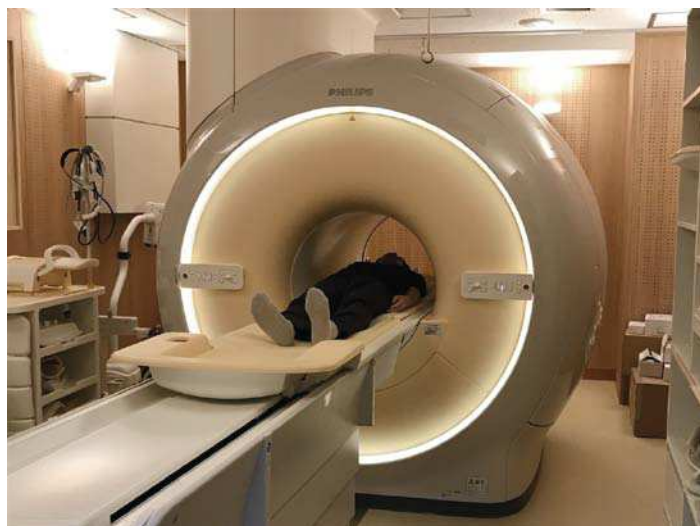
3.0T MRI導入により中央放射線室では、さらなる検査の質の向上、患者様に安心して安全な検査を提供できるよう日々努力しています。検査に関して気になることがあればいつでも気兼ねなく聞いてください。



画像3 頭部MRA 1.5Tと比較すると3.0Tでは抹消まできれいに描出されています



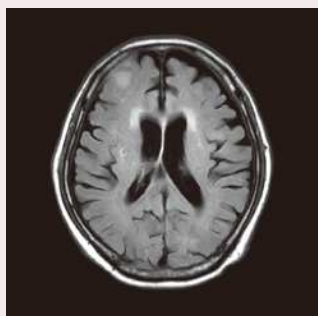
画像1 旧装置と新装置の大きさの違い



画像2 成人男性でもスペースに余裕があります。

頭部領域

頭部領域は3.0T MRIの恩恵を特に受けられる部位です。1.5Tと比べて約2倍の信号が得られるので、鮮明な画像を撮像できます。そのため細かな病変の描出能力が向上し、MRAで細かい血管まで観察することができるといったメリットがあります。また脳梗塞や脳出血といった緊急検査に備えて10分以下での検査を終了できるプロトコルを用意しています(画像4, 5)。



画像4 頭部FLAIR 細かい病変が白く描出されています。



画像5 頭部DWI 細かい脳梗塞もしっかり描出(白い点々がすべて)

腹部領域

腹部領域は呼吸の動きがある部位ですので、患者様の呼吸と同期をするか、息止めで撮像しています。撮像時間が長くなると動きの影響で画質が劣化するので時間を短く設定しているのに関わらず、高解像度で撮像できています。特にMRCP・EOB検査で効果を発揮しています。MRCP(造影剤を使用せずに胆管・膵管を描出する手法)は呼吸同期で従来装置だと3~5分かかっていたものが1~2分で撮れるようになりました。同期がうまくいかない場合はたった20秒間の息止めで撮ることが可能です。EOB(肝細胞に取り込まれる造影剤で、肝細胞の消失した病巣を検出できる)は3.0Tによる造影効果上昇も相まって、非常に高画質が得られます(画像6, 7)。



画像6 約2分で撮像したMRCP。胆管・膵管がきれいに描出されている。



画像7 造影20分後のEOB。造影剤を取り込んだ部分と取り込んでない部分のコントラストが良好

整形外科領域

整形外科領域では肩や膝、手首など専用のコイルを取り揃えているため、患者様は楽な体勢で検査を受けていただけます。かつ高画質な画像が得られるので腱・靱帯・半月板・軟骨といった細かい部分の描出能力が高くなります(画像8, 9)。



画像8 肩のMRI。細かい部分まで鮮明に描出されています。



画像9 膝のMRI。靱帯がきれいに描出されています。

循環器領域

循環器領域ではMRAを撮像する際に重宝します。他の検査には無いMRIの特徴として、造影剤を使用することなく血管を描出することがあります。あらゆる部位において1.5Tよりも3.0Tのほうが血管の描出力が高くなります。よく検査する部位としては頭頸部血管・腎動脈・下肢動脈が挙げられます(画像10, 11)。



画像10 両下肢のMRA。非造影でも狭窄が描出されています



画像11 腎動脈のMRA。非造影でも腎臓の中まで描出されています。

⑦車いす体験コーナー



障害物のコースを作成し実際に体験。
見ているのと、体験するのでは全く別!!

何度も体験されるお子さんも多くいらっしゃいました。

この経験から、車いすで困っている方をみかけたら、きっと率先して手助けしてくれると思います。



⑧AED体験コーナー

AEDをお子さんに指導しているときにお母さんから「臨床工学士の仕事について初めて知った。娘に進めたい。」などの声も聞かれうれしくなりました。AEDの存在は広まってきていますが、直接操作する機会はなかなかないのでみなさん楽しみながらも真剣に操作していました。



⑬ヨーヨー&スーパーボールすくい

大人になり、しばらく体験していないすくいもの。

事前にリハーサルを実施。だいたい2〜3個とれるような設定ですくう網を選定。

しかし、...

お子さんには邪気がなく平気で5〜6個すくってしまう。

すくいものなくなってしまう、...

反省します(*_*)

次回はもっと準備致します。



⑥3D画像体験コーナー

ワークステーションデモ機を使用し3D処理の体験。

画像の3D処理に子どもだけではなく大人も興味津々。

準備段階から携わって頂いた方、それらを影から支えてくださった方々、町内会、近隣の小中学校・施設のみなさんにも大変お世話になりました。御礼申し上げます。



平成30年8月5日(日)、 第1回「JR札幌病院感謝祭2018」

地域に密着した病院として、普段当院に来院したことのない地域住民にも気軽に来院していただけるきっかけ、院内の多職種の協力関係を高め、より一層のチームワークの向上を図るということをコンセプトにし、病院感謝祭実行委員会を設置し、協働で実効性のある計画づくりを進めてまいりました。

進め方については他院の病院祭を見学し、担当者より概要〜準備まで丁寧に教えて頂いたため、それを当院にあてはめ各部署で検討させて頂きました。

「1回目なので無理をしないで事故のないようにしよう!」と進めてはいましたが、『果たして人は来てくれるのだろうか?』とみんなが思っていたと思います。しかし当日は、予想の倍程度の来場者の対応に慌ただしく、不手際でご迷惑をおかけすることもありましたが、たくさんの方に来ていただき大変感謝しております。改善点は多数ありますが、病院職員が力を合わせてやり遂げたという事は経験となり自信となりました。

準備段階から携わって頂いた方、それらを影から支えてくださった方々、町内会、近隣の小中学校・施設のみなさんにも大変お世話になりました。御礼申し上げます。

今回は今回の反省を生かし、より良い感謝祭を作り上げますのでみなさんぜひいらして下さい。

病院祭につきまして、なにかありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

事務部 総務G 正木 良紀

⑮健康測定会

身長・体重、体脂肪測定、血圧測定、一酸化炭素濃度測定

肺活量測定、ロコモ度チェック、自動視力測定、ご希望のものをすべて測定し記録としてお渡ししました。

喫煙者の方は一酸化炭素濃度の測定で少しは意識されたのでは?

肺活量測定では平均との誤差にショックを受けた方もいたかもしれません。

③なりきりナース&医師撮影コーナー

当院ではインスタ映えするように背景に力を入れました。

職員がデザインし、着衣はナガイレーベンさんをお願いしました。

撮影した写真はプレゼント!

親子での撮影希望も多く、急遽、医師の白衣を準備。

聴診器も装着し、本格的なナース&医師たち!!



①セラピードック(北海道ボランティアドッグ協会)

小型犬から大型犬まで多犬種のボランティア犬にきて頂きました。このイベントを目当てにくる来場者も多く、みなさんとても癒されていました。

すでに施設会員になられている医療機関も多く、現在は約30の施設が待機状態というほど人気だそうです。



⑤お菓子調剤体験

調剤業務の体験を通して薬剤師に興味を持ってもらおうとお子さん向けに企画。分包機と調剤棚を業者さんよりレンタルし、調剤するお菓子を考え、準備は万全!!

しかし、当日は予想を遥かに上回る人数バタバタ(・・;)お菓子があつという間に底をつき、追加購入へ!!

とても忙しく、大変でしたが子供たちの笑顔に満足でした。



を開催しました。



④歯科石膏指模型

歯の型を取るアルジネートの印象材を指が入る小さなケースに入れて指の型を取る。色つき石膏(歯の模型用)を流し込む。同時に複数作製するので、付箋に氏名と色を書いてもらい石膏を管理。固まれば完成。

お子さんたちは、型をとるアルジネートの感触と指紋までハッキリとついている指の石膏に大満足している様子でした。



⑭外科手術体験ツアー

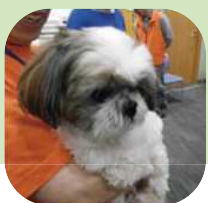
最初に手術用の手洗いを体験。次に術衣のガウン、手袋を着用。手術室3室に分かれて、超音波凝固切開装置を使って鶏肉を切開する模擬手術と3D腹腔鏡手術を実際に体験。

1回定員12名を2回の実施を予定していましたが、あまりの申込みの多さに18人に増枠。それでも体験できない方もいらっしゃいました。お詫び申し上げます。



⑨⑩⑫出店

ベジショップあさださん、たこやきパンチさん、ジェリーズポップコーンさん、大盛況でした。ありがとうございました。



②管理栄養士を体験

食べ物の3大栄養素を色分けし、栄養素ごとの食べ方の組み合わせを考える。自分で考えた組み合わせを貼り付け、完成した紙はプレゼント!!

お子さんだけではなく、お母さんも栄養の組み合わせについて参考されており、親子で楽しく学んでいました。



摂食嚥下障害対策 チームの紹介

当院で診察する摂食嚥下障害の患者さんは、脳血管障害のみならず、高齢、認知症、神経筋疾患、周術期絶食の影響などが原因の方が多く、年々増加しているのが特徴です。嚥下障害があると、栄養摂取が不良となり、誤嚥や肺炎の危険性が増します。何より、食べる楽しみが失われると、QOL(生活の質)が低下するのが大きな問題です。

摂食嚥下障害が疑われる患者さんに対して、より質の高いチーム医療を実現するために、今年4月に言語聴覚士の工藤さんが入職し、専門職による機能訓練がほぼ毎日可能となりました。また、各職種がそれぞれの特徴を生かして、チームアプローチで、診断・治療・支援に取り組んでいます。

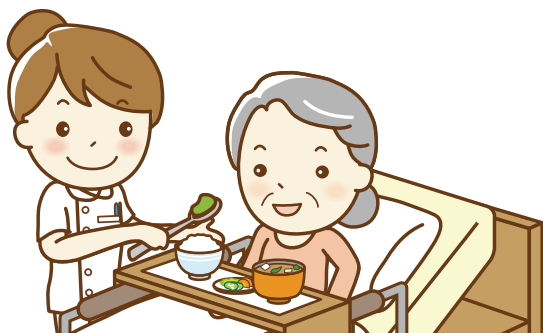
当院は急性期病院のため、短期入院の症例が多いのですが、短期間といえども摂食嚥下の評価と訓練を行っておくことが、その後の自宅や施設などでのQOLの維持・改善に非常に重要です。当院での検査結果、治療経過、訓練内容、食形態などを転所先でも継続して情報共有できるようにシステムを構築中です。その一環として、6月には、これまで提供していた嚥下食を見直し、全国標準の学会基準食分類に改め、継ぎ目のない食支援が可能となりました。

現在は、入院患者のみを対象としています。外来においても、摂食嚥下に何らかの問題や悩みを抱えている患者さんの診察・訓練を積極的に受け入れていく予定です。摂食嚥下障害にかかわる施設や関係者の皆さんとは、今後さらに連携強化や情報交換をお願いしたいと存じます。

(文責：歯科口腔外科 北川栄二)

摂食嚥下障害が疑われる患者さん

- ・食事中や食後に『むせこみ』『咳』『痰』が多い
- ・口やのどに食べ物が残る感じがする
- ・硬い物が食べにくくなった。
- ・口から食べ物や唾液がこぼれる
- ・食物や胃液が胃からのどに戻ってくる感じ
- ・口腔内の乾燥が著しい
- ・過去に誤嚥があった。肺炎(発熱)を繰り返す
- ・脱水・低栄養状態。拒食がある
- ・食べるのが遅くなった。食事時間が1時間以上
- ・最近やせてきた、体重減少。
- ・声がかすれてきた



検査と診断

水飲みテスト
反復唾液嚥下テスト
嚥下内視鏡検査
嚥下ビデオX線検査
胸部X線、血液検査など
摂食状況のレベル評価

目標設定



チームリーダー
副院長
染川 幸裕



口腔ケア 歯科治療 機能訓練 間接訓練
直接訓練 姿勢調整 摂食介助
適切な形態の食事提供 栄養管理
ミールラウンド

再評価と目標の見直し



私達の目標

誤嚥性肺炎の発症を予防する
より常食・通常食に近い形態の食物を口から摂取
食べることの喜びを感じていただくこと
栄養状態の改善



各職種の総力を結集！

チーム構成メンバー

- ・主治医 担当看護師 リンクナース
- ・耳鼻科医師 耳鼻科看護師
- ・歯科医師 歯科衛生士
- ・放射線技師 管理栄養士 言語聴覚士
- ・リハビリ担当理学療法士、作業療法士
- ・呼吸器内科医師(アドバイザー)

地域発

田代内科・呼吸器科クリニック

院長 田代 典夫先生



初めに、3年前に私がヘモ手術のためJR病院さんに入院させて頂いた際、諸先生・病棟スタッフの皆様にはすっかりお世話になり、有難うございました。良質なアメニティと細やかな心配りのお蔭で4泊5日の入院生活も快適でした。

私は15年前49歳時に、市電中島公園通り電停近くのテナントで開業しました。開業する年齢としては少し遅すぎ？経営も厳しいのでは？の不安もありましたが、勤務医時代に担当していた患者さんの少なからずの方に開業当初から通院して頂けたこともあり、家内とスタッフに支えられながら、何とかこれまで診療を続けて来られました。

当院の患者さんでは「ここ数日咳が止まらず、夜も眠れない」と訴え来院される方が多いのですが、その中から、喘息の素因がある方を見逃さないように、まず問診でアレルギーの既往歴、飼育ペットの有無、職業歴、喫煙歴、咳の出る時間帯の特徴などを把握し、次に聴診所見で吸気時う音や強制呼気時のwheezingなどを確かめ、その後必要に応じてChest X-ray、フローボリューム、呼気NO測定などを行い、咳嗽の鑑別診断を行っています。これまでの感触では「急性の咳嗽でも、感染症に加えて、気管支喘息の素因がある人が結構多い」と感じており、過剰診断には至らないようにしていますが、喘息合併例と考えられれば抗生剤等の他にICS又はICS/LABAのドライパウダータイプかエアゾールタイプを、理学所見、検査所見、インチェックで測定する吸気速度などから総合的に判断・選択・処方し、その場で模型を用いて吸入指導も行っています。通

常はまず7日分の処方を行い、「1週間経って咳も止まり、痰が絡まなくなったら、もう来院不要ですが、朝方少しでも痰絡みがあればもう一度来て頂き、継続治療の必要性を判断させて下さい」とお話ししていますが、再度来院される方は少ない印象です。

また勤務医時代の20年前から在宅医療に携わり、開業後はそれまでの個人宅に加えてグループホームからの依頼にも応え、毎週水曜日の午後の外来を休診にして、訪問診療を行っております。在宅の看取りは結構大変ですが、今後も気力・体力の続く限り、このまま地域包括ケアシステムの一翼を荷って行きたいと思っております。

私は医師会の仕事もしておりますが、JR病院さんには日頃より医師会活動へのご理解とご協力を賜っておりまして、改めて御礼申し上げます。特に長らく副支部長を務めて頂いた安藤院長、副支部長から支部参与にご就任頂いた中山先生、現副支部長の鶴間先生、現副班長・札幌医代議員の長田先生、本当に有難うございます。

最後に日常診療では四十坊先生を始めとする呼吸器内科の諸先生に大変お世話になっておりますが、いざと言う時に必ず緊急の患者を引き受けて頂ける鶴間先生のホットラインも大切な心の拠り所であり、感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。



田代内科・呼吸器科クリニック

〒064-0811 札幌市中央区南11条西8丁目2-1ドミ16中島公園1階

TEL:011-561-2511 FAX:011-561-2512

院長 田代 典夫

診療科 内科、呼吸器科

診療時間 9:00～12:30(月・火・木・金)、9:00～12:00(水)、9:00～13:00(土)、14:00～17:30(月・火・木・金)

休診日 水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



新そらちゃん&はなちゃんシリーズ

“牡蠣(かき)!そろそろだよ”

そらちゃん

はなちゃん



そらちゃん 「はなちゃん、そろそろ牡蠣の季節だね。やっぱり、牡蠣の旬は11月から2月までの時期が生食用として売り出されて、美味しんだよね!」

はなちゃん 「本当においしいのは3~5月の牡蠣は抱卵期を迎える準備のころなんだよ。一番とれるのは宮城県で、濃厚でクリーミーなんだ、広島は牡蠣はあっさりとした味なんだよ」

そらちゃん 「どっちもおもしろいそうだね。でもあたったらいやだな!」

はなちゃん 「牡蠣にあたる原因は、ノロウイルス、腸炎ピブリオ、大腸菌、貝毒かな?一番はノロウイルスだね」

そらちゃん 「同じもの食べても、あたる人と何ともない人がいるのは何故?」

はなちゃん 「ノロウイルスの中のある型は、血液型A型の人には感染しやすく、B型の人には全く感染しない、また違うある型はO

型の人には感染しないなどのケースがあるらしいよ。感染しても、体に免疫のあるタイプであれば、症状が出ないか、軽症で経過する可能性がでてくる。胃酸が強くて、殺菌力が高い。確率の問題かな」

そらちゃん 「ぼくA型だな!ところで生食用力キと加熱用力キの違いは鮮度かい?」

はなちゃん 「実は鮮度ではなく、違いは海域や菌数や洗浄方法なんだ。きれいな海域か(河口などから離れていて、下水の影響がない海域)、水揚げ後よく洗浄されたか(砂だし、洗浄、殺菌など)、力キ剥き身の菌数(細菌数、大腸菌数、腸炎ピブリオ数)などだよ。加熱用は必ず火をとおしてね」

そらちゃん 「やっぱり厚岸産にする!早く食べに行こう、行こう」

はなちゃん 「まだ10月だよ!ざんねん」

生き粋川柳大募集

健康について、病気について、家族について、生活(食事・運動・睡眠...)についてなどお好きなテーマで日頃感じていることを川柳にしてみませんか。

ご応募頂いた中から数作品を広報誌「ほっとネット」に掲載いたします。

作品テーマ: 健康について、病気について、家族について、生活(食事・運動・睡眠...)等お好きなテーマ

応募期間: 平成30年10月1日から10月31日

応募方法: 当院地域医療連携センター前に設置してある応募用紙に記載し、応募箱に投函又は川柳を記入し住所・名前を記載の上郵送でご応募ください。

応募先: 〒060-0033

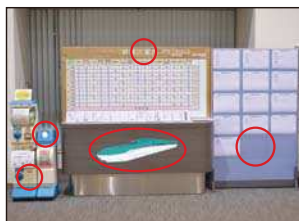
札幌市中央区北3条東1丁目JR札幌病院 地域医療連携センター

*氏名の公表を希望されない場合はペンネームを掲載いたします。

採用者は今回特別にクオカード2枚です。奮ってご応募ください。

JR札幌病院

間違い探しゲーム ほっとネット46号当選者発表



5つの
まちがいは

応募総数 **25人**

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。

井上 美紀 様、キリンさん 様、ナッツ 様
はるたん 様、みゆ 様

編集後記

前回発刊から、夏、初秋が過ぎ、もうすぐ冬到来です。皆さん今年はどんな夏を堪能されましたか?わたしは、食の北海道を満喫しすぎたせいか、先日の健康診断で体重増加とお腹周りの増大に気付く始末。油断していました。本誌でお届けした、当院初の試みであるJR札幌病院感謝祭での健康測定会からの出店での飲食なんて最高じゃないと思っちゃいました。ぜひ来年の開催も期待しています。(ひとで)

発行日/2018年10月1日

編集長/伴 紀宏

編集者/大村 早代・小原健太郎・河野 通晴・中澤 英之・中村あゆみ
夏目 健文・正木 良紀・松本 道明・渡邊由美子

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<http://www.jrsapporohosp.com>